

東京都府中市の 中心市街地活性化施策を視察

中心市街地
活性化検討協議会

1月27日(金) 厚木市議会中
心市街地活性化検討協議会では、
東京都府中市の中心市街地活性
化施策調査視察を行いました。
日本共産党では栗山香代子議員
が参加しました。

歴史のまち府中

大國魂神社と競馬場も

府中市は東京都のほぼ中心に位置し
新宿から22キロメートル、東に調布市、
西に国立市、南は日野市、多摩市、稲
城市、北は小金井市、国分寺市があり
ます。奈良・平安時代に武蔵国を治め
ていた役所である国府があったので
「府中」。

市内には、
因幡の白兔
で有名な大
国主がつくっ
たとされる
大國魂(お
おくにたま)
神社があり、
多くの文化
財もありま



す。

昭和29年に人口5万人で市制施行し、
現在は29・34歳に25万人、人口は現在
も増えています。府中市役所は市のお
おむね中心にあります。

東京競馬場は府中市が施行者で特別
会計となっています。市内にはポート
ピア多摩川がありますが府中市は運管
に関係ありません。が、大田区にある
平和島競艇場は府中市が施行者です。
昭和43年に3億円強奪事件が発生した
ことでも有名です。

中心市街地活性化基本計画

中心市街地は府中駅およびけやき並
木通りを中心として北側の府中公園から南
側が府中本町駅までの62・29ヘクタ―
ルです。府中駅南口再開発やにぎわい



庁舎に掲げられたラグビーのキャンペーン地誘致をめざす垂れ幕

創出のためのまちづくり、国史跡の保
存整備・活用等、様々な事業が行われ
ていましたが、いずれも事業単位で考
えられており、中心市街地をエリアと
してとらえた展開が図られていません
でした。

また中心市街地から離れた市内の調
布基地跡地をイトーヨーカ堂が取得し
大型商業施設を整備予定です。近隣市
の多くでも駅前再開発が進み人の流れ
が変化することが予想されるため中心
市街地活性化基本計画の策定をするこ
ととなりました。

平成26年11月に内閣府と相談を開始
し、基本計画(案)を策定、28年6月
に認定されました。

衰退する前に活性化を図ろう

国の認定が短期間で取れた理由につ
いて、市の担当者は「国からは、なぜ
府中がとの意見があった。国の中活は
効果が上がっていない、衰退する前に
必要と訴えた。落ちかけているときに
対応し、商業の活性化を図ると。市長
に、何が何でもとの強い思いがあった」
と話しました。

基本計画は、28年7月から34年3月
までの5年9か月。

課題は①経済活力の向上、②回遊性
の創出、③市民交流の推進、としてい
ます。

活性化のテーマは「にぎわい創出に
より市民や来訪者が集い交流する、文
化・歴史のある中心市街地の形成」。

目標は、①大規模商業施設の年間販
売額、②東京競馬場タイアップ年間利
用組数、③公共施設年間利用者数につ
いて、現状と33年の数値を掲げていま
す。

主な事業は府中駅南口再開発、新庁
舎建設、国史跡保存活用、商業支援、
ラグビーのまち推進などです。ハード
事業が多いので、今後はソフト事業を
展開したいとのことでした。

認定後は、国からの
支援の活用、新たな組
織機構(まちづくり会
社)の創設と民間主導
によるスピード感と柔
軟性をもったまちづく
り、市民へのPRに取
り組むとのことでした。

庁舎建設基本計画

平成21年度に庁舎の一部の耐震性能
の構造耐震指針(IS値)が0・6を
下回っていることが分かり、22年度に
問題点整理や庁舎建設の基本的方針等
の検討を行い、23年度に庁舎建設基本
構想を策定しました。市議会では22年
度「市庁舎対策特別委員会(のちの市
庁舎建設特別委員会)」を設置。
26年度は建設基本計画を策定、27年
度に基本設計ができました。

事業手法について、民間資金を利用
して民間に施設整備と公共サービスの
提供をゆだねるPFIも検討しました
が、新庁舎の早期実現が求められるこ
とと、市民意見と行政ニーズを取り入
れながら設計を進めることができた
ため、直接建設方式を採用しました。計
画では、他市の検討状況で、後年度負
担、期間、「公」が責任を持って管理
運営を行うことが適切、などの理由で
PFIでなく市直接で実施する手法を
とっている事例が示されています。



実施設
計の完了
予定は29
年10月ま
です。

市民談話室にある大時計。
7匹目の子ヤギが隠れたのかな...

市民の声を幅広く聴きました

この間は、広報の新庁舎特別号を4
号、さらに詳しい「庁舎建設ふちゅう
かわら版」を10号発行するほか、アン
ケートやパブリックコメント、市民説
明会も行っています。市から出向く取
り組みとしてイベントのブースを出展
し市民へ説明し意見を聞いています。

担当者の説明の中では、庁舎建設に
向けて、市民や議会の意見も聞き進め
てきたようすが多々話されました。
府中市と厚木市の立地・環境条件な
どの違いは大きいものの、自分のまち
の特徴を踏まえ国に訴えていく姿勢を
感じました。

今後は、厚木市でも庁舎建設が大
きな課題になってきます。他市の状況
を学びながら、より良い選択をしてい
くことが求められます。